

夢づくり推進大賞について

県では、「新おかやま夢づくりプラン」を着実に推進するため、各地域で積極的に展開されている協働の取組のうち、先駆的な事例や「県民力の結集」の模範となる事例を「夢づくり推進大賞」として知事表彰している。

平成23年度は、各部局、県民局等の推薦を受け、13団体を受賞者として決定し、次のとおり表彰式を実施する。

1 受賞団体

別紙「平成23年度夢づくり推進大賞受賞団体一覧」のとおり

2 表彰日時及び場所

平成23年5月27日（金）13:00～14:00

県庁3階特別応接室

（参考）表彰団体数

年 度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
表彰数	9	9	9	12	13	16	11	13

計92団体

平成23年度夢づくり推進大賞受賞団体一覧

別紙

(プログラム順)

取組団体名	代表者名	取組名	該当プログラム
1 県大そうじゃ子育てカレッジ実行委員会	おかざき じゅんこ 岡崎 順子	子育てカレッジの実施	子育て支援プログラム
2 特定非営利活動法人 リスタート	はやし なおひこ 林 尚彦	めざせ☆おかやまの星 育成事業	子ども教育プログラム
3 特定非営利活動法人 勝山・町並み委員会	つじ きんいちろう 辻 均一郎	岡野屋旅館プロジェクト	文化プログラム
4 津山っ子を守り育てる市民の会 ちゅうどう 中道ブロック	にしお たもつ 西尾 保	地域ぐるみによる子どもや高齢者等の安全確保	安全・安心まちづくりプログラム
5 にいみ日本一安全安心のまちづくり プロジェクト実行委員会	はしもと まさずみ 橋本 正純	安全安心のまちづくり	安全・安心まちづくりプログラム
6 岡山県交通安全母の会連合会	いしかわ みよ 石川 三四	交通事故防止運動の推進	暮らしと交通の安全プログラム
7 真備地区少年非行防止パイロット地区 事業推進実行委員会	いたの やすひろ 板野 泰弘	少年を非行からまもる パイロット地区事業	暮らしと交通の安全プログラム 青少年プログラム
8 ももたろう国際救援隊	まとの ひでとし 野 秀利	国際救援活動	災害対策・危機管理プログラム 国際化プログラム
9 森林ボランティア「きのこの森」	なかとう かつのぶ 中藤 勝信	未来に引き継げ”ふるさと”の森	水と緑プログラム 都市・農村景観プログラム
10 特定非営利活動法人 倉敷町家トラスト	なかむら やすのり 中村 泰典	まちに灯りをともす	都市・農村景観プログラム
11 すさい 周匝コスモスまつり実行委員会	はら まさよし 原 正義	コスモス・案山子まつり	観光プログラム
12 いろいろアグリ	さかぐち とみみ 坂口 智美	東備地域ほんまもの 味・究極の地産地消推進事業	農林水産業プログラム
13 たかはしフィルム・コミッション	いしい まさゆき 石井 雅之	映画ロケ誘致と観光振興	まち・むら活性化プログラム

平成23年度夢づくり推進大賞受賞団体

子育てカレッジの実施

子育て支援プログラム

県大そうじゃ子育てカレッジ実行委員会(総社市)

項目	内容
取組主体の概要	【代表】岡崎 順子 【構成員数】16人 【設立】平成21年12月
取組の概要	市と協働し、地域ぐるみの子育て支援拠点を大学内に開設し、子育て中の親子がゆっくり安心して過ごすことができる「つどいの広場」や、虐待や食育をテーマとした「保育ステップアップ講座」、子育てや子育て支援に関する相談等を実施した。
県政への貢献	「つどいの広場」(週1日開催)の開催や、「保育ステップアップ講座」(年4回)等を開催し、平成22年度は延べ1,029組の親子が利用し、地域の総合的な子育て支援の拠点整備に大いに貢献した。



つどいの広場 「チュッピーひろば」



保育ステップアップ講座「型染めで遊ぼう」

特定非営利活動法人 リスタート(岡山市)

項目	内容
取組主体の概要	【代表】林 尚彦 【構成員数】16人 【設立】平成18年
取組の概要	行政や県内企業と協働し、中学生・高校生等を対象に伝統産業や特色ある産業に触れる体験学習を行い、その結果をフリーペーパー「めざせ☆おかやまの星」として取りまとめた。
県政への貢献	県内中高生53名が伝統産業や特色ある産業のうち県内20社(ベティスミス、ナカシマプロペラ、銘建工業等)に触れる体験学習の開催を通じて、自らの将来や生き方について考える機会を提供し、子どもたちの勤労観・職業観の育成に貢献した。



ジーンズ制作会社での体験学習



めざせ☆おかやまの星冊子

岡野屋旅館プロジェクト

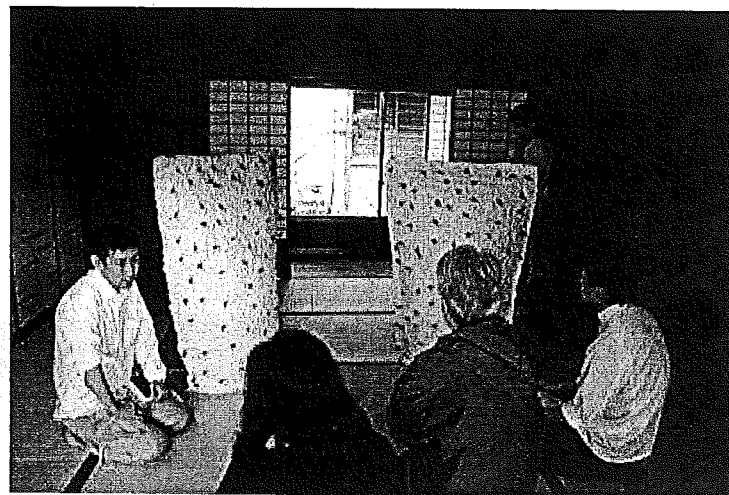
文化プログラム

特定非営利活動法人 勝山・町並み委員会(真庭市)

項目	内容
取組主体の概要	【代表】辻 均一郎 【構成員数】12人 【設立】平成21年4月
取組の概要	県や市と協働し、勝山町並み保存地区内の廃屋を芸術文化の発信スペースとして再生し、国民文化祭で美作地域の作家による展覧会、ワークショップを開催した。
県政への貢献	国民文化祭で美作地域の作家による展覧会「岡野屋プロジェクト2010」を開催し、1,242名の来館者を迎えるなど、地域の芸術文化の振興に大いに貢献した。



岡野屋旅館の修復



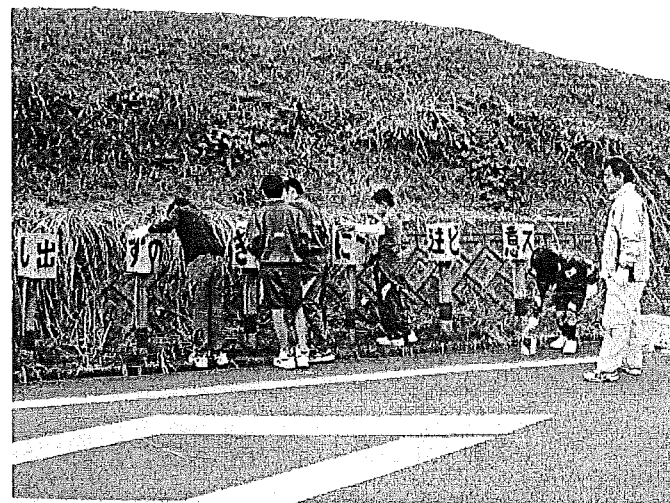
美作地域作家展覧会「岡野屋プロジェクト2010」

津山っ子を守り育てる市民の会中道ブロック(津山市)

項目	内容
取組主体の概要	【代表】西尾 保 【構成員数】約95人 【設立】平成2年
取組の概要	市と協働し、通学路等での見守り活動や、児童の登下校時間などに不審者情報の発生箇所を中心にパトロール活動を展開している。また、交通安全看板の設置活動、定期的な清掃活動を行った。
県政への貢献	防犯パトロール車両(41台・保有台数県下第2位)によるパトロール活動等により、当該地域の犯罪認知総数の減少(H19 95件 → H22 60件)、特に自転車盗の減少(H19 7件 → H22 1件)に大いに貢献した。 また、中学校生徒による交通安全看板の設置活動や清掃活動などを通じて青少年の健全育成や地域の連帯感や絆の強化に貢献した。



通学路等での見守り活動



中学校の生徒による交通安全看板の設置活動

にいま日本一安全安心のまちづくりプロジェクト実行委員会(新見市)

項目	内容
取組主体の概要	【代表】橋本 正純 【構成員数】約110人 【設立】平成22年
取組の概要	市と協働し、安全安心なまちを目指し、「にいま日本一安全安心のまちづくり市民大会宣言」を行い、標語コンテスト表彰式、寸劇による振り込め詐欺の注意喚起などを行ったほか、携帯用自発光式の青色LED点滅ライトを配布した。
県政への貢献	にいま日本一安全安心まちづくり市民大会等を開催し、取組が市広報紙やケーブルテレビ等で取り上げられるなど、安全安心のまちづくりの周知に寄与している。また、携帯用自発光式の青色LED点滅ライトを配布し、夜の安全歩行等に市民に活用される(約1万5,000個)など、犯罪や事故が起きにくい地域の基盤づくりに大いに貢献した。



にいま日本一安全安心のまちづくり市民大会



青色LED点滅ライト「通称:青ピカ」

岡山県交通安全母の会連合会(岡山県)

項目	内容
取組主体の概要	【代表】石川 三四 【構成員数】約162,000人 【設立】昭和43年
取組の概要	行政、交通関係機関等と協働し、各家庭において交通安全に関する話し合いを積極的に行い、交通安全家族会議の開催などを推進し、家庭から交通事故の加害者、被害者、交通違反者を出さない運動を展開するとともに、地域の人々と連帯感を高め、子どもや高齢者の交通安全指導、シートベルト・チャイルドシートの着用の呼びかけ、各種交通安全運動への参加、交通安全研修会、講演会の開催など献身的な奉仕活動を続けている。
県政への貢献	交通事故のない明るい社会を建設するため、「交通安全は家庭から」を合言葉に、交通安全の日(毎月10日、25日)等の街頭活動や、新入学児童・幼稚園児に対する交通ルールの指導、各種交通安全教室の開催、子育て・高齢者世帯訪問事業などにより、長年の活動が事故の減少傾向に繋がり、平成22年の県内の人身事故件数は8年連続の減少となり、交通事故防止に大いに貢献した。



子育て・高齢者世帯訪問事業



高齢者交通安全指導講習会

少年を非行からまもるパイロット地区事業

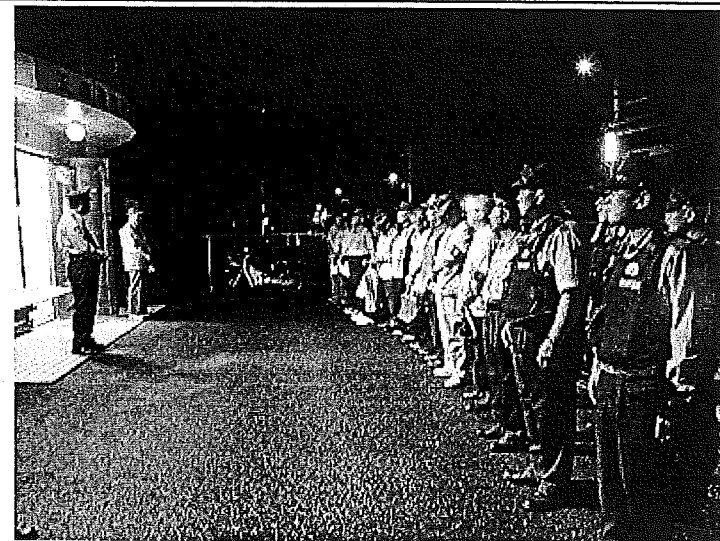
暮らしと交通の安全プログラム
青少年プログラム

真備地区少年非行防止パイロット地区事業推進実行委員会(倉敷市)

項目	内容
取組主体の概要	【代表】板野 泰弘 【構成員数】55人 【設立】平成22年
取組の概要	真備地区の学校と協働し、「万引き防止教室」「薬物乱用防止教室」を行ったほか、中学校及び高校を対象に「万引き防止ディスカッション」「自転車盗難被害防止教室」等を開催した。 警察と協働し、コンビニエンスストア、公園等を中心に不良行為少年の補導活動を行った。
県政への貢献	「万引き防止教室」「薬物乱用防止教室」の実施や不良行為少年の補導活動により、刑法犯少年の減少(H21 41人→H22 12人)や補導された不良行為少年の減少(H21 265人 → H22 130人)に大いに貢献した。



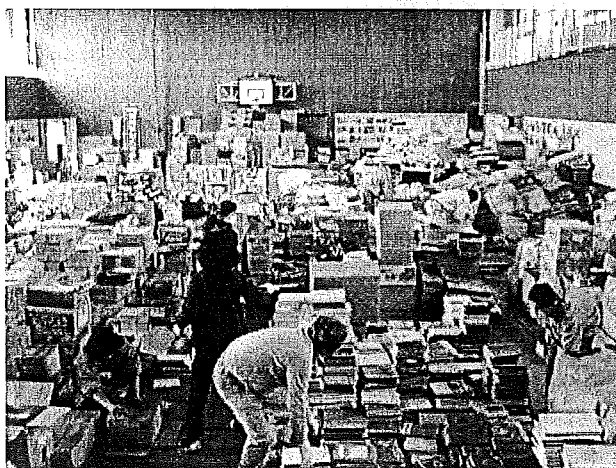
万引き防止教室



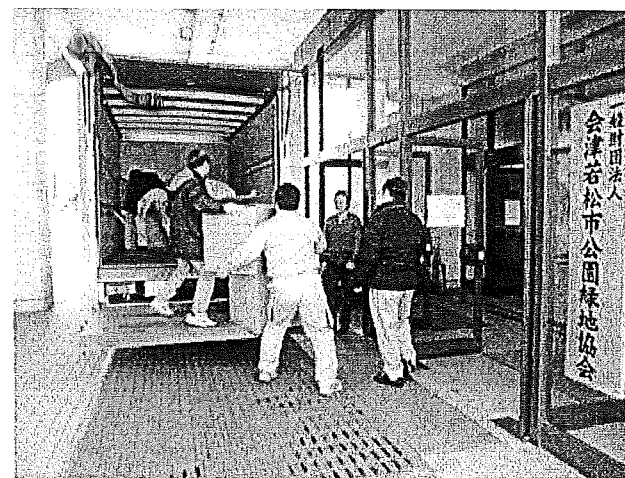
不良少年補導活動「ミッドナイト作戦出発式」

ももたろう国際救援隊(新見市)

項目	内容
取組主体の概要	【代表】的野 秀利 【構成員数】110人 【設立】平成16年12月
取組の概要	県と連携し、スマトラ島沖地震(H16)、新潟県中越沖地震(H19)、四川大地震(H20)、ハイチ大地震(H22)、東日本大震災(H23)等国内外の大規模災害に際して、県が岡山空港内に設置する「救援物資備蓄センター」に保管している物資の提供や救援隊の派遣等被災地への支援活動を行った。
県政への貢献	東日本大震災等での物資の提供、救援隊の派遣等被災地への支援活動(職員・ボランティア派遣) ・3月中旬 会津若松市、福島市等に貯水用タンク(20リットル入り)300個、粉ミルク、マスク等を輸送 ・4月中旬 福島県南相馬市に職員・ボランティア派遣 等により、国際貢献先進県おかやまの実現に大いに貢献した。



大学校内防災訓練シェルターでの救援物資の仕分け
(東日本大震災)



避難所(会津若松市)への救援物資の提供
(東日本大震災)

未来に引き継げ“ふるさと”の森

水と緑プログラム
都市・農村景観プログラム

森林ボランティア「きのこの森」(勝央町)

項目	内容
取組主体の概要	【代表】中藤 勝信 【構成員数】20人 【設立】平成18年9月
取組の概要	県や町と協働し、放置された森林の木を伐採し、シイタケ栽培に有効活用したほか、遊休農地を活用し就学前の親子を対象とした野外体験活動を行った。 ファーマーズマーケット・ノースビレッジで「きのこの森祭り」「炭焼き講習会」を毎年開催している。
県政への貢献	放置された森林の木を伐採することにより、森林の環境保全に貢献したほか、遊休農地を活用した野外体験活動により、1年間に延べ約1,000名の参加者を集めるなど、農地の保全や自然保護の意識向上に大いに貢献した。



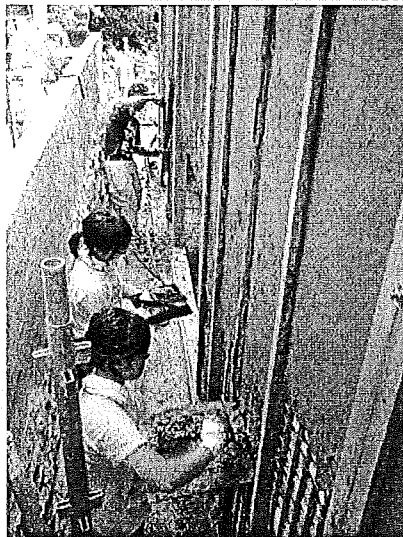
伐採木をシイタケの原木に利用



遊休農地を利用した野外体験活動

特定非営利活動法人 倉敷町家トラスト(倉敷市)

項目	内容
取組主体の概要	【代表】中村 泰典 【構成員数】個人約290人、企業40社 【設立】平成18年
取組の概要	市と協働し、倉敷美観地区の空家を滞在型宿泊施設に改装したほか、空家や不在家屋を調査し、データベースを作成して店舗入居の仲介を行った。
県政への貢献	空家を町家暮らしが体験できる滞在型宿泊施設に改装するなど8棟を改修・利活用したほか、空家や不在家屋への店舗入居の仲介を行い、特産品(倉敷帆布等)を販売する店舗が開店するなど、観光地の景観の保全やにぎわいの創出に大いに貢献した。



滞在型宿泊施設への改築作業



入居仲介によって開店した特産品販売店舗

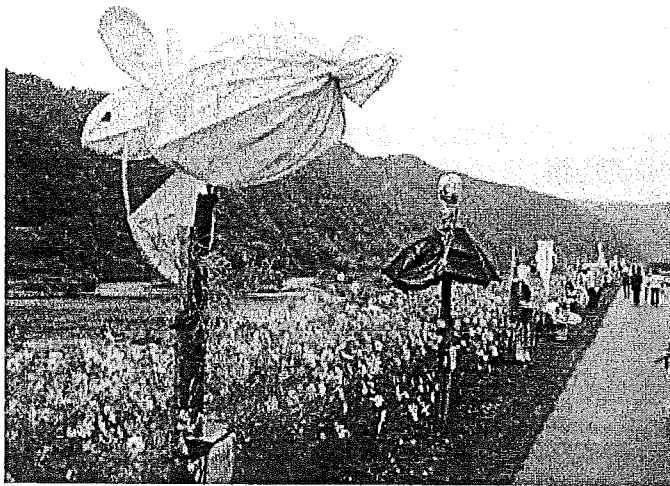
コスモス・案山子まつり

観光プログラム

すさい

周匝コスモスまつり実行委員会(赤磐市)

項目	内容
取組主体の概要	【代表】原 正義 【構成員数】32人 【設立】平成10年
取組の概要	県と協働し、不法投棄や竹、雑草が繁茂していた堤防を清掃し、コスモスを植え、環境美化に取り組んでいる。 毎年秋には地元住民手作りの案山子コンテストや地元住民による屋台の出店などの「コスモス・案山子まつり(計13回)」を開催している。
県政への貢献	堤防の清掃活動や、コスモスの植栽活動(150~200万本)により、環境美化に貢献したほか、平成22年度はバス約300台、約2万人が来場し、観光客が年々増加するなど、地域の観光資源の創出に大いに貢献した。



コスモス街道



コスモス・案山子まつり

いろいろアグリ(和気町)

項目	内容
取組主体の概要	【代表】坂口 智美 【構成員数】24人 【設立】平成12年10月
取組の概要	市町と協働し、生産した農畜産物を素材にした地産地消オリジナルメニューの開発や、新たな特産品の開発として有害獣のイノシシやシカの肉を利用したメニューの試作を通して、農産物の地産地消、地域内流通を推進している。
県政への貢献	「地産地消オリジナルメニュー」を開発し、その中でも米粉を使ったピザ等を地元の農産物直売所や飲食店で提案することにより、生産者と実需者を繋ぐ役割を果たした。さらに、会員によるピオーネや桃太郎ぶどうを使った加工品研究や商工業者との連絡会議がドレッシングの商品化やレストランへの食材納入に繋がるなど、農林水産物の生産振興や地域資源の活用に大いに貢献した。また、農業分野での女性の地位向上に貢献した。



米粉を使ったメニュー研修会



有害獣の肉を利用した試作メニュー

たかはしフィルム・コミッション(高梁市)

項目	内容
取組主体の概要	【代表】石井 雅之 【構成員数】個人43名 19団体 【設立】平成16年9月
取組の概要	市と協働し、映画等のロケ地の誘致活動を積極的に展開し、ボランティアエキストラの手配などロケ支援を行った。ロケの実績を活用し、映画ロケ地へのバスツアーの実施やホームページでの情報発信を行った。
県政への貢献	数多くの映画等のロケの実績に繋がったほか(県庁の星、バッテリー、大地の詩、ルパンの奇巖城等)、ロケの実績を活用し新たな観光資源の創出に大いに貢献した。また、地元市民によるボランティアエキストラの活用により、地域の活性化にも大きく貢献した。



映画「大地の詩」



映画「ルパンの奇巖城」